

行政の取組

取組名

「支援が必要な子」を支援する力を底上げする、
特別支援教育ソフトの活用について①

背景

- 発達障害の児童生徒が急増し、人材の供給が追いついていない状況
- ・特別支援学級数 R6 : 276 (H27の2倍)、
特別支援学級に在籍する児童生徒数 R6 : 1,631人 (H27の2.4倍)
 - ・特別支援学級担任の52%が経験年数3年以下。新任教員は64人 (21.8%)
 - ・通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の割合 R3 : 8.8% (H27の1.2倍)
→全担任が特別な支援に関する知識・知見を持つ必要がある
 - ・経験の浅い教員をサポートするシステムが必要

行政の取組

取組名	「支援が必要な子」を支援する力を底上げする、特別支援教育ソフトの活用について②
目的	<p>○特別支援教育ソフトを活用することで、教員の支援する力を底上げする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援が必要な子に対して担任が作成する「個別の教育支援計画」の作成をサポート <ol style="list-style-type: none"> ①子のアセスメント（実態把握）が質問に答えることでチャートに表される ②子の特性に合わせた支援策が具体的に提案され、教材のダウンロードが可能 ③保護者が子をアセスメントすることができるため、情報共有・対話がしやすい ④統一した書式のため、学校内でも情報共有が容易 ⑤園→小学校→中学校と計画の引継ぎがしやすい ・特別な支援に関する研修動画の活用 <p>○経験の浅い教員でもソフトを活用することで「個別の教育支援計画」を作成することができ、保護者や学校と情報共有することで一丸となって子を支援することが可能となる。 また、計画を切れ目なく引き継ぐことで支援体制を継続することができるようになる。</p>
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> ①小・中学校 R5、6年度：4校導入→取組効果（別紙参照） ②幼保支援課にて、R6年度に私立園に対して助成を行い、12園が導入 →R6.8月頃、効果検証予定（対象園にアンケートを行う）
今後の予定	<ol style="list-style-type: none"> ①教育：効果を検証し、導入検討 ②私立幼稚園：導入施設数の増加を図る。既にソフトを導入している小学校の学区内の園で導入することにより、引継ぎの円滑化を進めていく。 ③市立こども園：導入検討

R 5 特別支援教育ソフト 効果検証成果

- 1 実施校 大里中学校、大里西小学校
清水第二中学校、清水岡小学校

- 2 通常学級における保護者と共有による個別の教育支援計画作成数
(特別支援学級を除く全校に対する作成人数の割合%)

	R 4 (導入前)	R 5 (導入後)
大里西小	41 (5.4%)	52 (7%)
清水岡小	3 (0.6%)	25 (5%)
大里中	28 (4.1%)	42 (6.5%)
清水第二中	16 (2.5%)	30 (4.9%)

- 3 導入による成果

作成	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの実施により実態を把握でき、支援計画を作成しやすかった。 ・文例があるので取り組みやすい。 ・新規採用であるが、文例があるので取り生みやすかった。アセスメントに対する負担感を感じなかった。 ・作成にかかる時間が短くなった。 ・本人や保護者の願いが以前よりはっきりとわかり、作成に役立った。
支援	<ul style="list-style-type: none"> ・支援例が具体的で誰でも支援がしやすくなった。支援方法を複数提案できた。 ・計画作成のフォーマットがそろったことで、職員が共通理解して対応できた。 ・合理的配慮について、どんなものがあるのかを例文を見て知ることができたため、配慮の幅が広がった。 ・早期からの支援に繋がった。 ・教材を活用した。環境のUDに繋がった。
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭でのあらかのの違いも含めて共有できる。 ・ここまで支援しているという保護者の好意的な受け止めにつながった。 ・子どものよさや保護者の思いに注目して作成した。子どもの困り感に沿って具体的な話ができる。

資料 「2023 まなびプラン アセスメント (学習の困り)」 アンケート回答画面より

学習面の困り: 2023年06月18日実施
前年度の回答を反映
削除

児童生徒の学習面の困りに関するアンケートを実施します。
 読み書きをすること自体が難しい、もしくは、学習面の問題のないお子さまに関しては回答不要です。
 学校生活におけるお子さまの行動を考慮して、質問項目にご回答をお願いいたします。
 どれくらいの頻度でアンケート項目に書かれた行動が生じるか、もっとも当てはまると感じるものに○を付けてください。
 未学習・想像ができない等の理由で回答が困難な場合は、「ない」と回答してください

アンケート回答 編集

アンケートの主回答者:
教員 / 保護者

ID	設問	よくある	ときどきある	まれにある	ない	保留
01	聞き間違いがある(「知った」を「行った」と聞き間違える)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
02	聞きもらしがある	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
03	個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
04	指示の理解が難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
05	話し合いが難しい(話し合いの流れが理解できず、ついていけない)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
06	適切な速さで話すことが難しい(たどたどしく話す、とても早口である)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
07	ことばにつまったりする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
08	単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
09	思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
10	内容をわかりやすく伝えることが難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
11	初めて出てきた語や、音段あまり使わない語などを読み間違える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
12	文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読んだりする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
13	音読が遅い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="checkbox"/>

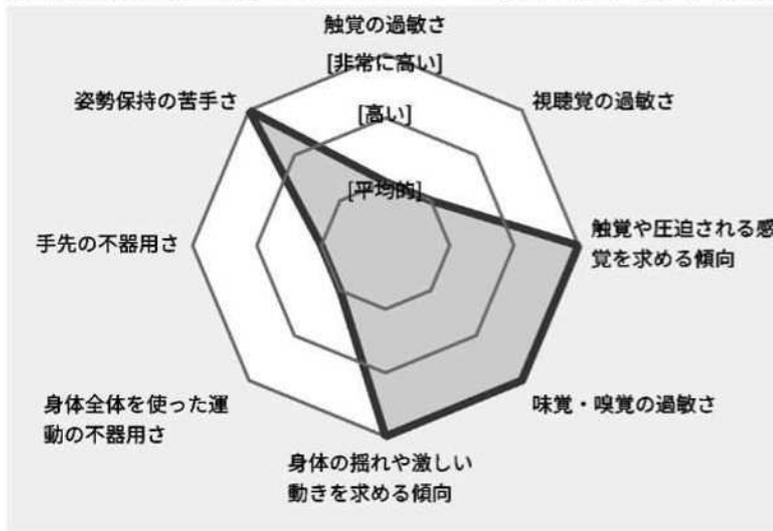
全 025 問中
保留中 000 問
保留項目 電出力
回答済み 025 問
結果を確認

【2023年度】静岡一郎さん アセスメント結果

感覚・運動面の困り

2023/06/18 12:36実施

児童生徒の特性由来の感覚・運動面の困りについて、[非常に高い]、[高い]、[平均的]の3段階で評価しています。

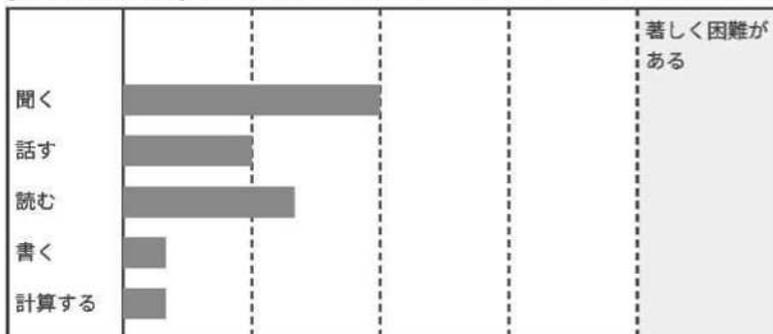


触覚の過敏さ	触覚刺激や人に触れられることが苦手。特定の刺激を繰り返す傾向がある
視聴覚の過敏さ	視覚・聴覚の刺激に対する過敏さがある
触覚や圧迫される感覚を求める傾向	特定の触感や圧迫、振動などを好む傾向がある
味覚・嗅覚の過敏さ	特定の食感や匂い、味などに対して過敏な傾向がある
身体の揺れや激しい動きを求める傾向	揺れや回転の影響を受けにくく、強い刺激を求める傾向がある
身体全体を使った運動の不器用さ	身体全体を使った運動に不器用さが見られる傾向がある
手先の不器用さ	手先が不器用で道具操作や細かい作業が苦手な傾向がある
姿勢保持の苦手さ	姿勢保持やバランスを取ることが苦手な傾向がある

学習面の困り

2023/06/18 12:41実施

[著しく困難がある]に該当する項目に関しては、特別な教育的支援を必要とする可能性があります。

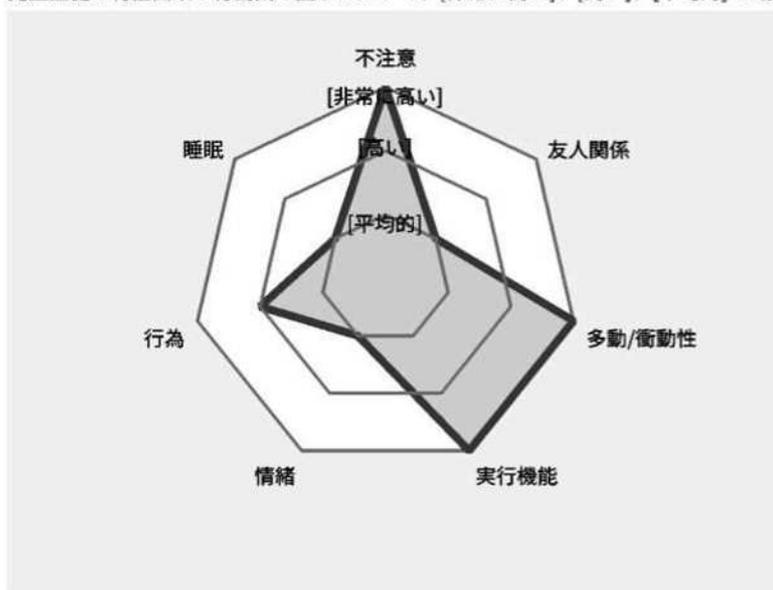


聞く	他人の話を正しく聞き取って理解することに困難が生じる傾向がある
話す	伝えたいことを相手に伝わるように的確に話すことに困難が生じる傾向がある
読む	文章を正確に読み、理解することに困難が生じる傾向がある
書く	文字を正確に書くこと、筋道立てて文章を作成することに困難が生じる傾向がある
計算する	暗算や筆算をすること、数の概念を理解することに困難が生じる傾向がある

行動面の困り

2023/06/18 12:47実施

児童生徒の特性由来の行動面の困りについて、[非常に高い]、[高い]、[平均的]の3段階で評価しています。



不注意	気が散りやすく、注意を集中させ続けることが困難であったり、必要な事柄を忘れやすかったりする傾向がある
友人関係	関わり方が一方的であったり、ルールに沿って遊ぶことが難しかったりするなどして、友人関係を築くことが難しい傾向がある
多動/衝動性	じっとしていることが苦手で、落ち着いて活動や課題に取り組むことが困難であったり、思いっぴくままに行動したりする傾向がある
実行機能	目標を達成するために行動や思考をコントロールすることが難しい傾向がある
情緒	些細な出来事に強いストレスを感じたり、わずかな変化にも大きな不安が伴ったりする傾向がある
行為	行動や言動、感情をその場の状況に合わせてコントロールすることが難しい傾向がある
睡眠	不安定な睡眠のため、授業中の居眠りや、集中力の低下が見られる傾向がある

児童生徒基本情報

児童生徒名	性別	生年月日
しずおか いろは	男	2011年12月25日
静岡 一郎		

通級に関する情報				
通級	学級名			担任
通常の学級	学年・クラス	6年7組	担任	堀内
関係者	特別支援コーディネーター ○○○○			

願い

児童生徒 本人の願い	<ul style="list-style-type: none"> 忘れ物を減らしたい。 顔を合わせると、けんかになってしまう子がいる。普通に話したり遊んだりしたい。 	保護者の 願い	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身の回りの物の管理ができるようになる。 今やるべきことに集中して取り組む力をつけたい。 周りの友達に素直に気持ちを伝えることができるようになってほしい。
---------------	--	------------	---

児童生徒の実態

好きなこと 得意なこと	<ul style="list-style-type: none"> YouTubeをみること。 絵を描くこと。
嫌いなこと 苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> 片付け、宿題。 家族（父、母、姉、妹）に叱られること。

好きなこと 得意なこと	<ul style="list-style-type: none"> 体育や外遊び等、体を動かすことを好む。 好きなアニメについて話すことや登場するキャラクターを描くこと。
嫌いなこと 苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓が苦手 持ち物の忘れ物が多い 気持ちのコントロールが苦手 相手の気持ちの推測やその気持ちにふじた行動がとりにくい

支援の目標

長期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の障害についての理解を深め、生活する上で適切な技術や対処法を学ぶことができるようになる ・様々な人と円滑にコミュニケーションができる方を身に付ける
短期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の所有物を使いやすいように何がどこにあるかわかる状態を保ったり、貴重品や身の回り用品の紛失を防いで管理したりすることができるようになる他者の置かれている状況や考えていること ・行動の意図を汲んで、受け容れる態度を示すことができるようになる ・場面に合わせて、言葉遣いや声・態度を工夫することができるようになる



支援の目標に向けた、支援の内容

学校での支援内容		家庭・関係機関での支援内容	
保護者の要望	<ul style="list-style-type: none"> ・明日の予定、持ち物等がわかるように予定帳の確認をお願いしたい。 ・自分の気持ちをコントロールできるよう落ち着ける場所はないか。 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から明日の予定を持ち帰る。家庭では、それを元に次の日の準備をし、できたことを認める。次の日、忘れ物をせずに登校できたことを担任が褒める。 ・昨日からの一連の流れのよかったところをフィードバックし、習慣化できるよう励ます。 ・家庭生活の中でも、他者の行動の意図を汲み、受け入れるような場面を意図的に作り、相手の気持ちを考える練習をする。
合理的配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を集約できるよう、メモや付箋を使えるよう指導する（例：ポケットにメモを入れておき、完了したことは線を引くようにする、など）*①-1-1 ・怒りや興奮の状態を本人自身が認識できる場面を設け、興奮状態になる前に気持ちのコントロールする方法を学ぶ機会を設ける（例：安心できる場所へ移動する、10数えてみる、など）*①-2-2 	関係機関	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇小児科（▲▲医師） ・放課後デイサービス「□□□」

備考	
----	--

私は、以上の計画内容について、

- 記載されている情報を確認しました
- 記載されている情報を支援関係者と共有することに同意します
- 記載されている情報を進学先等に引き継ぐことに同意します

署名年月日	年 月 日	室数	
-------	-------	----	--